（資料２－１）

タイトル	我が国の救急医療体制と 病院前医療体制の概要	消防機関における救急業務及び救急救命士制度に対する理解	MCの基本と運用の理解	救急救命士が実施する救命処置	WS：オンラインMC	MCに関わる関連法規に対する理解	WS：事後検証、症例検討会の方法論	WS：救急救命士等に対する教育	WS：MC及び指導医の今後の展開	局所災害時のMC
講師	細川先生　22枚	森川先生　26枚	阪本先生　108枚	井上先生　42枚	伊藤先生　42枚	西田先生　43枚	山下先生　8枚	梅村先生　？枚	坂本先生　26枚	高山先生　16枚
テーマ	救急業務の対象と応急処置 救急病院等を定める省令 救急救命士法と応急処置の拡大 救急隊の編成 消防法の改正 協議会の組織と実施基準 MC体制の確保 MC協議会の役割 医療法における医療計画の位置づけ 救急医療体制と救急医療の充実 MCにおける、今後検討すべき事案	消防組織の概要 広域消防応援と緊急消防援助隊 救急業務 救急隊数と救急救命士運用状況 特定行為 処置範囲拡大の経緯 MC体制 処置範囲拡大とMC 救急救命士の養成と救急隊員の生涯教育 指導救命士の役割と育成 出動件数、搬送時間の推移 救急搬送の現状 救急搬送における緊急度判 救急安心センター事業の普及促進 救急業務における今後検討すべき事案	MCの実際 MC体制の確保 MC協議会の状況 包括指示と具体的指示 救急活動の記録 救急業務と医療施設の連携 医師の現場出動 佐賀県のドクターカー、ドクターヘリ事業 事後検証 活動記録票と事後検証 全国事後検証実態調査結果概要 全国MC体制実態調査結果概 検証医師の要件 メディカルディレクターの要件 佐賀県におけるICTを用いた救急医療体制評価 熊本震災における佐賀県MC体制の活用	救急救命処置 応急処置 各救急救命処置 特定行為 救命士処置拡大の経緯 救急救命処置と医師の指示 特定行為の対象 応急処置、特定行為の実施状況 処置拡大における課題	プロトコルとは 地域医療事情とプロトコル 各種プロトコル、特定行為で用いる年齢定義 プロトコル実施に必要な時間 プロトコル作成（グループワーク） MCの役割 オンラインMCに必要な項目 オンラインMCの実際（グループワーク）	法規の構造 憲法と法律の関係 法律と命令の関係 命令と告示の関係 救急救命士法の構造 救急救命処置の位置づけ 医師法 保助看法 医行為と診療の補助の関係 医療にまつわる法的責任	PDCAサイクル 検証のためのガイドライン策定 検証の方法論 検証の実際 検証医所見 検証するポイント 検証する際の注意点	医療機関内と病院前での医療の違い 救命士教育の問題点 救急隊の活動 救命士の再教育	救急医療体制の歴史 救急業務の変遷 MC体制の確保 オンラインMC、オフラインMC 具体的指示と包括的指示 MC医師	平時のMCとの違い 地域防災計画 災害時における消防と医療の連携 災害現場における体系的な対応 福知山線列車事故 MCLSコースについて
必要項目	国レベルの救急医療体制について	国レベルの消防業務について		救命処置に関する事項						
考察	前回に比べて救命士に関するスライドが減少し、他講義と重複する部分がかなり少なくなった。ドクターカー等の病院前医療における医師の関与についての言及がなかった。	特定行為や拡大処置等については、「救命処置」という講義があるので、ここでは軽く流して良い。通信指令員に関する説明の追加が望ましい。	演者が所属する佐賀の実例の紹介が多すぎる。時間に対しスライドが多すぎる	GIO、SBOがきちんと提示されている。問題なし。	WS2では、どのようなテーマでグループワークを行ったのか分からない。個人的には福岡会場の伊藤先生の事前講義＋東京会場の森村先生の進め方を合わせた講義が良いと思われる。	一部の重なりあるが仕方がない内容。法的責任について、追加必要	どのようなグループワークを行ったか不明。検証医師についての説明必要。	議論のための参考資料しかなく、どのような講義、グループワークを行ったか不明	どのようなグループワークを行ったか不明。SBO、キーワードを網羅して欲しいという依頼が周知されていたか疑問。この研修は救急科専従者だけが受講するものではないので、救急科専門医というキーワードが必要か不明。	内容的には多数傷病者事案ではなく、局地災害について書かれている。セッション名がSBOを正しく表していない為と思われる。「出動現場での医師との協働」などはいかがか？
SBOの達成	B	A	A	A	B	B	C	？	？	C
キーワードの収載	B	B	B	A	B	A	C	？	？	C
SBO	救急医療体制について説明できる 救急医療の現状について説明できる 救急医療体制の歴史と現状について説明できる 病院前医療における医師の関与について説明できる	消防組織と救急業務について説明できる 救急出動体制について説明できる 通信指令システムについて説明できる	MCの目的を説明できる MC体制を説明できる MCのコア業務を説明できる コア業務という言葉の使用な 地域のMC体制について説明できる	救急隊員が行う処置について説明できる 救急救命処置について説明できる 特定行為について説明できる	オンラインMCとオフラインMCの違いを説明できる オンラインMC時の注意点を説明できる 情報伝達における注意点を説明できる オンラインMCを実施できる オンラインMC体制の現状について述べることができる	法の構造について説明できる 救急救命処置の法的位置づけについて説明できる 医療にかかわる法的責任について説明できる メディカルコントロール体制における法的責任について説明できる	事後検証の方法論を説明できる 検証医師に求められる知識について説明できる 事後検証を実施できる 事後検証、検証会議の現状について述べることができる	救急救命士の養成課程教育・再教育について説明できる 救急業務に関する生涯教育について説明できる 救急救命士教育の現状について説明できる 救急救命士の病院実習について議論できる	MCの現状と課題について議論できる MC医師として今後の活動について議論できる 医師のMC研修について議論できる →議論できるか不明	現場医師派遣システムについて説明できる 出動現場での消防と医師の連携について説明できる 災害時の消防と医療の体制について説明できる 災害時と平時のMCの相違点を説明できる（災害時におけるMCの課題を説明できる） 局地災害への計画、現場対応、検証、教育・訓練について説明できる
キーワード	救急医療体制 医療圏 初期・二次・三次救急医療機 ドクターカー・ドクターヘリ 救急救命士 病院前救護体制のあり方に関する検討会	消防組織 救急業務 救急隊・救急救命士・指令員 救急隊の編成 出動件数・搬送時間 通信指令 口頭指導 電話による緊急度判断 緊急度に応じた救急出動	病院前医療 メディカルコントロール協議会 救急救命処置 プロトコル 指示 指導・助言 検証 教育	応急処置 救急救命処置 特定行為 救急活動記録 具体的指示 包括的指示	オンラインMC オフラインMC プロトコル 特定行為 指示要請 処置時間 処置現場 オンラインMC記録 包括的指示・具体的指示 情報伝達	法規の構造 救急救命士法 法律 命令（政令・府省令） 告示 医行為・診療の補助 刑事上の責任 民事上の責任 行政上の責任	プロトコル 検証の標準化 救急活動記録 一次検証・二次検証・三次検 フィードバック 検証医師	養成課程 就業前病院実習 再教育病院実習 救急救命技術研修会 症例検討会 128時間 生涯教育の指針 指導救命士	MCの現状 MCの課題 MC医師 MC医師研修 救急科専門医	ドクターカー ドクターヘリ 災害時消防体制 DMAT 指揮命令 トリアージ 現場処置 搬送先選定 事後検証 災害対応計画
まとめ	各セッション間でのスライドの重複は少なかった。講義時間に比し、スライド枚数が極めて多い講義が見受けられ、全体のバランスを図る必要がある。事前に指定されたSBOやけーワードが十分に盛り込まれていないセッションが見受けられた。スライドの中でSBOの提示をしキーワードを網羅した内容になるよう周知徹底する必要があると思われた。									

A・B・Cの3段階評価（A：十分、B：やや不十分、C：不十分）

A・B・Cの3段階評価（A：十分、B：やや不十分、C：不十分）